

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(7/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区(神奈川県等)	正	3.1	<p>3.3</p> <p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・健康産業の創出に伴う経済波及効果 9% ・医薬品・医療機器の臨床開始から上市までの期間短縮による経済効果 343% ・次世代医薬品・医療機器の新規開発による経済効果 107% 	<p>3.5</p> <p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の機会を活用した、加工食品やサプリメント等の<u>勧奨</u> 等 ・<u>財政支援等</u> ・国際戦略総合特区支援利子補給金 1件 等 ・<u>地域独自の取組</u> ・神奈川県産業集積支援融資 等 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器・医薬品の臨床開始から上市までの期間短縮や次世代医薬品の新規開発等の経済効果など大きな成果を上げられていることがうかがえる。川崎市の職員健康WEBシステム、産業研究会等の様々な活動も展開していることも評価される。 ・困難な課題に対して勇敢にチャレンジし、また、多面的課題に対して統合的にアプローチしている点が評価される。 ・規制の特例措置はあまり活用されていないが、財政・税制の支援により、一定の実績が得られている。 ・殿町地区において医療分野の研究機関や企業の集積が進むなど、基盤整備が図られており、将来性には期待できる。 ・検体・情報基盤等の設備投資、データベース事業収入、健康産業の売り上げなど具体的な事業について成果が見られず、厳しいと言わざるを得ない。引き続き事業を続ける意味があるのかを自ら再検討することが必要と思われる。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)